

ナイスキャッチ!

かがみソフトボールフェスティバル

8月26日(土)小学生から壮年まで約200人のソフトボール愛好者が、市内外から香我美運動広場に集まり、かがみソフトボールフェスティバルが開催されました。

今年4回目を迎えるこのイベントは、各年代層の交流の場になっています。

午後からのソフトボール教室では小中学生らが、体育協会ソフトボール部指導のもと、「投げる・捕る」といった基本動作の練習をしました。特にボールをキャッチする時は積極的に前へ出てキャッチをするなど指導を受け、熱心に取り組みました。



全国キャラバン隊がやってきた

香南市交通安全母の会結成



『交通安全は家庭から!』を合言葉に、8月22日(火)香南市交通安全母の会(会長:石川鶴子)が結成されました。

のいちふれあいセンターで開催された結成総会には、旧町村の母の会の代表をはじめ、市内で活動する女性団体やPTAのお母さんら51人が出席。規約や初代役員、事業計画を決定しました。また、総会に併せて、交通安全キャンペーン全国キャラバン隊伝達式とお母さんのための交通安全教室が開かれ、「子どもや高齢者の交通事故防止」と「飲酒運転の追放」を誓い合いました。

泥をけちらしゴールッ

どろんこ「夢」サッカー大会



八月十九日(土)香我美町の田んぼで、かがみスポーツクラブ主催のどろんこ「夢」サッカー大会が開催されました。市内から約七十人の参加があり、小学生リーグと中学生以上のリーグに分かれて対戦しました。六分間という短い試合でしたが、泥に足を取られて体力消耗。試合終了後には「疲れたー。しんどい」の声も。しかし、山南地区消防団の人からの放水でたちまち元気に!香我美町婦人会の用意してくれた昼食もあつという間にたいらげました。

集まろう!盛りあげよう!楽しもう!

よしかわ子どもまつり

8月19日(土)よしかわ子どもまつりが、吉川体育館で行われました。

みどり保育所の子どもたちによる「おみこし」から始まり、豪華景品の当たる紙飛行機飛ばしあいやビンゴゲーム、手品ショーなどのアトラクションがありました。

また、吉川町の各種団体による、たこ焼きやかき氷、カレーライスなどが販売され、輪投げや金魚すくい、ウナギつりなどたくさんの夜店も並び、子どもも大人も一緒になって、お祭りを楽しみました。



かつて、塩の生産地だった赤岡町と物部町までを結んでいた「塩の道」の復活を目指し、九月四日(月)香我美保健福祉センターで「塩の道」香南市保存会」の設立総会が開催されました。「塩の道」は、塩や農産物を運ぶ道として昭和初期まで往来がありました。現在は廃道。これを観光資源に生かそうと香美市側が整備を始め、全区間(二十七キロ)復活を目指し香南市側の九キロについても保存会をつくり全市的な活動を開始したものです。九月二十九日には、会員らでルートを実際に歩き確認しました。

「塩の道」復活へ  
保存会設立総会

農業の担い手を支援

認定農業者講習会



認定農業者についての問い合わせ先  
市役所農林課農林係 ☎57・7517

香南市担い手育成総合支援協議会では、「認定農業者」の育成支援を図るため、9月下旬まで市内農協各支所などで講習会を開催しました。

「認定農業者制度」とは、農業経営者として、頑張っていこうとする人を育成、支援していこうとするものです。自ら経営、改善に取り組む意欲のある人であれば、性別、年齢、経営規模の大小などは問いません。国の農業政策は、担い手や認定農業者に限定されてきており、認定農業者を増やすことが地域を守り育てるために必要となります。

講習会に参加した農家は、計画書の作成に戸惑いながらも、一生懸命取り組みました。

真夏の白熱戦!はっけよい

香取神社夏祭奉納相撲大会

8月20日(日)第38回香取神社夏祭奉納相撲大会が赤岡ドームで行われました。

香取神社の相撲は、古くから五穀豊穡、大漁祈願、商工業繁盛、交通安全を祈願、併せて心身を鍛錬するスポーツとして行われてきました。

小学生相撲の部は市内や香美市から5校7チームが参加し、土俵ぎわの好勝負もあり、観客席からは大きな歓声があがっていました。

小学生相撲の部

団体戦	個人戦(優勝)
1位 夜須小	1.2年の部 寺内大智(野市東)
2位 吉川小A	3.4年の部 小原静馬(大橋)
3位 香我美小	5年の部 内村圭蔵(香我美)
	6年の部 永野翔太(夜須)



腹ごしらえして さーうん!

流しソーメンとどろんこゲーム

8月19日(土)野市町で『のいち遊びすとクラブ』主催の第50回『野塾』流しソーメンとどろんこゲーム大会が開催されました。

市内小学生約60人が参加し、昼食は流しソーメン。会員が割った青竹を涼しげに流れるソーメンを、子どもたちは競い合ってすくい「冷たくておいしい!」を連発。

午後のどろんこゲームでは、恐る恐る田んぼに足を入れていた子どもも、かけっこや綱引きなど盛りだくさんのゲームに全身泥だらけで大奮闘。ゲームが終わっても子どもたちは、お風呂のように田んぼにつかりまるで泥エステ。存分にどろんこを楽しみました。

